

科目名	現代の国語	単位数	2	学科・学年・学級	森林環境科 1年1組 普通科 1年2組
学習の到達目標	1 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付け、論理的に考える力を伸ばす。 2 他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 3 言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。		教科書・副教材等	高等学校 標準現代の国語 (第一学習社)	
評 価					
観 点	評 価 規 準			方 法	
知識・技能	国語の知識や技能を身につけ、実社会に役立てようとしている。			・定期考査 ・言語活動 ・学習課題の提出	
思考・判断・表現	自分の思いや考えを広げたり深めたりして、伝え合う力を身につけている。			・定期考査 ・言語活動 ・学習課題の提出	
主体的に学習に取り組む態度	言葉を通して他者への理解を深め、社会に関わろうとしている。			・授業態度 ・ポートフォリオ	
学 習 計 画					
	学 習 内 容		学 習 の ね ら い		考査
1 学 期	○オリエンテーション ○単元 世界を広げる 「なぜ本を読むのか」(随筆) 「世界は謎に満ちている」(リ) ○単元 言葉が開く世界 「言葉遣いとアイデンティティ」 ○言語活動(1) 話し方の工夫・待遇表現・論理的な表現		・高校の国語の授業や勉強方法について理解する。 ・筆者の考える読書の効用について、文章構成をもとに理解し、自分に照らして考えを深める。 ・「世界は謎に満ちている」ことを説明するための工夫を、文章の構成や取り上げられた事例から把握する。 ・言葉には、認識や思考を支えるはたらきがあることを理解する。 ・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。 ・相手により伝わりやすい表現方法を理解する。		中 間 ・ 期 末
2 学 期	○単元 人間と文化 「水の東西」(評論) 「ステレオタイプの落とし穴」(評論) ○単元 生活の中の表現 「法律の改正に関わる文章を読み比べる」 ○単元 社会と人間 「人はなぜ仕事をするのか」 ○言語活動 「情報の探索と選択」 「スピーチで自分を伝える」 「相手に伝える案内をする」		・東西の対比関係を用いながら、日本の水文化に見られる特徴について論じる叙述の方法を把握する。 ・ステレオタイプとは何かを説明するための論展開を把握し、筆者の主張について理解を深める。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する方法を学ぶ。 ・筆者が述べる仕事の本質について考察する。		中 間 ・ 期 末
3 学 期	○単元 現代と社会 「イースター島になぜ森がないのか」 「黄色い花束」 ○言語活動 「書き方の基礎レッスン」 「地域の魅力を紹介する」 「社会に対する意見文を書く」		・筆者が提示する人類と生態系のあり方について考察する。 ・戦争や平和について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 ・表記・表現の基本ルール、接続表現の種類や用法、比喩などの表現技法を理解する。 ・必要な情報や資料を収集・整理し、わかりやすい紹介文を書くために活用する方法を理解する。		学 年 末
【技能審査の成果の単位認定】					
・在学中に「日本漢字能力検定2級」を取得した場合は、申請すると技能審査の成果の単位認定が行われ、「現代の国語」の単位数に2単位を加えることができる。					

科目名	言語文化	単位数	2	学科・学年・学級	森林環境科 1年1組 普通科 1年2組
学習の到達目標	言語活動を通して、国語での確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成し、言葉を通して他者や社会に関わる態度を養う。			教科書・副教材等	高等学校標準言語文化 (第一学習社)
評 価 規 準					
観 点	評 価 規 準				方 法
知識・技能	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。				<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・話し合い ・学習課題の提出
思考・判断・表現	「書くこと」「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。				<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・話し合い ・学習課題の提出
主体的に学習に取り組む態度	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉が持つ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。				<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・ポートフォリオ
学 習 計 画					
	学 習 内 容	学 習 の ね ら い			考査
1 学 期	とんかつ (三浦哲郎) 児のそら寝 (宇治拾遺物語集) 羅生門 (芥川龍之介) 漢文入門	<ul style="list-style-type: none"> ・小説という文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などを的確に捉える。 ・古典の文章に慣れるとともに、現代に通じる話のおもしろさや人間描写の巧みさを理解する。 ・場面の展開をとらえ、老婆の語る論理が下人の決断に与えた影響を読み取る。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・我が国の言語文化についての理解を深めるために、古典としての漢文を読むことの意義を知らせる。 			中間・期末
2 学 期	よろこびの歌 (宮下奈都) 絵仏師良秀 (宇治拾遺物語) 詩の楽しみ 道程 (高村光太郎) 小景異情 (室生犀星) 二十億光年の孤独 (谷川俊太郎) 故事成語 五十歩百歩 (孟子) 矛盾 (韓非子)	<ul style="list-style-type: none"> ・主人公「私」の心情の動きを読み取る。 ・積極的に説話を読ませ、叙述に基づいて人物造形の面白さを捉える。 ・近代詩の鑑賞の仕方を理解し、作品に示された作者の思いを読み取る。 ・それぞれの詩の発想のおもしろさや、優れた表現を理解する。 ・漢文の訓読に慣れるとともに、現在使われている言葉が漢文に由来することを知る。 ・作品の歴史的・文化的背景を理解する。 			中間・期末
3 学 期	夢十夜 (夏目漱石) 枕草子 (清少納言) 鏡 (村上春樹)	<ul style="list-style-type: none"> ・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する。 ・作者の感性の細やかさに気付かせ、現代に相通ずる美意識を理解する。 ・幽霊でも超常現象でもない、人の内面に潜む恐怖とは何かを読み解く。 			学年末

科目名	国語表現	単位数	2	学科・学年・学級	森林環境科 2年1組
学習の到達目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成し、国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。			教科書・副教材等	国語表現（大修館書店）
評価					
観点	評価規準			方法	
知識・技能	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。			<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 言語活動 学習課題の提出 	
思考・判断・表現	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、実社会における他者との多様な関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。			<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 言語活動 学習課題の提出 	
主体的に学習に取り組む態度	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。			<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 読書感想文 ポートフォリオ 	
学習計画					
	学習内容	学習のねらい			考査
1学期	単元1 言葉と出会う <ul style="list-style-type: none"> 言葉と表記 整った文を書く 表現への扉①身近な言葉を見つめよう 単元2 伝える・伝え合う <ul style="list-style-type: none"> 自己紹介ゲーム 言葉のストレッチ体操 表現への扉②伝え合いのヒント 単元3 小論文・レポート入門 <ul style="list-style-type: none"> 小論文とは何か 反論を予想して書く 	<ul style="list-style-type: none"> 文章を書くために、基本的な表記の決まりや正しい言葉の用い方を確認し、さまざまな「書く」活動の準備をする。 文章を書くための基本である「文」について、読みやすくわかりやすい整った文を書く。 自己紹介を目的としたさまざまなゲームに取り組み、伝え合いを楽しむ。 ミニゲームを通して、コミュニケーションの基礎となる「聞く」「話す」「伝え合う」ことの基礎的な力を培う。 小論文とは何かを理解し、基本的な書き方を学ぶ。 対立する立場を想定することで、小論文に強い説得力を持たせる方法を学ぶ。 			中間・期末
2学期	<ul style="list-style-type: none"> 文章を読み取って書く 表現への扉③小論文を書くために 単元4 自己PRと面接 <ul style="list-style-type: none"> 自分を見つめて 効果的な自己PR 将来の自分を考えよう 表現への扉④自己を見つめる 単元5 メディアを駆使する <ul style="list-style-type: none"> 通信文を書き分ける 電話を使いこなす 電子メールを活用しよう 表現への扉⑤メディアを考える 単元6 会話・議論・発表 <ul style="list-style-type: none"> 相手や場面に応じた会話 建設的な議論の進め方 表現への扉⑥コミュニケーションを豊かに 読書の広場 <ul style="list-style-type: none"> 読書への誘い 読書の魅力再発見 	<ul style="list-style-type: none"> 課題文の要旨を正確につかみ、自分の立場を明らかにして意見を展開する練習をする。 進路や社会との関係を考える上で、さまざまな表現の土台となる「自分を見つめ、自分を知る」事に取り組む。 自分の魅力や特徴をわかりやすく印象的に伝える練習をする。 将来の夢をより現実的なものにするために、就きたい職業に就いて調べ、将来の自分について文章を書く。 相手や目的によって使い分けられるよう、いろいろな通信文の書き方を学ぶ。 改まった場面での電話のやりとりを練習する。 電子メールの特徴、やメリットデメリットをふまえた使い方を知り、より上手に使いこなせるようにする。 ロールプレイを通して、場面に応じた話し方を学ぶ。 集団で意見を出し合い、議論を重ねて結論を出せるよう、より生産的で実りある話し合いの進め方について学ぶ。 多くの人の優れた表現に触れ、多様な生き方や考え方を知り、自分の表現を豊かにする。 			中間・期末
3学期	単元 表現を楽しむ 創作活動と発表	<ul style="list-style-type: none"> 言葉遊びや制作、討論会など、さまざまな活動に取り組み、表現を楽しむ。 			学年末

科目名	論理国語	単位数	2	学科・学年・学級	普通科 2年2組
学習の到達目標	言語活動を通して、実社会に必要な国語の知識・技能を身に付け、論理的・批判的に考える力を伸ばすとともに、言語文化の担い手として言語を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。		教科書・副教材等	新 論理国語（三省堂）	
評価規準					
観点	評価規準			方法	
知識・技能	文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深め、文章に含まれる情報を理解し、整理する方法について理解している。			<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 言語活動 学習課題の提出 	
思考・判断・表現	情報の妥当性や信頼性を吟味して自分の主張を支える根拠を示しながら、多面的・多角的な視点から自分の考えを見直し、論点を明確にして的確に伝えることができる。			<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 言語活動 学習課題の提出 	
主体的に学習に取り組む態度	言葉が持つ価値への認識を深め、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、言語文化の担い手として言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。			<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 言語活動 ポートフォリオ 	
学習計画					
	学習内容	学習のねらい			考査
1 学期	若者に友達プレッシャー （辻大介） 情報を整理する 一人で爆笑（飯間浩明） カタカナ語は享受すべきか	<ul style="list-style-type: none"> 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にししながら要旨を把握する。 論証したり学術的な内容を学んだりするために必要な語句の量を増し、書き手の立場や論点など様々な観点から情報を収集、整理し、目的や意図に応じた題材を選ぶ。 主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する。 情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深め、内容や構成を的確に捉えている。 			中間・期末
2 学期	多様な視点から考える （前田健太郎） 女性／男性だから〇〇 （瀬地山角） 落語の中の経済学（大竹文雄） レポートを書く	<ul style="list-style-type: none"> 推論の仕方について理解を深める。 設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げ、根拠を明確にして意見文を書く。 文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深める。 多面的・多角的な視点から自分の考えを見直し、根拠や論拠の吟味を重ねて、主張を明確に伝える構成を学ぶ。 			中間・期末
3 学期	情報の内容を吟味する 「すべり台社会」と「溜め」 （湯浅誠） 地球上の「旅人」 （ヤマザキマリ） スポーツとナショナリズム （阿部潔）	<ul style="list-style-type: none"> 情報を重要度や抽象度などによって階層化し整理する方法について理解を深め、その情報を活用して意見を述べる。 主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する。 表現の仕方と書き手の意図との関係を捉える。 設定した題材に関連する複数の資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりする。 			学年末

科目名	文学国語	単位数	2	学科・学年・学級	普通科 2年2組（選択）
学習の到達目標	幅広い文学作品に触れる意義を理解し、多様な解釈をし、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を身に付ける。			教科書・副教材等	新 文学国語（三省堂）
評 価 規 準					
観 点	評 価 規 準			方 法	
知識・技能	文学的な文章における文体の特徴や習字などの表現技法を理解し、わが国の言語文化の特質について理解している。情景の豊かさや心情の機微を表現する語彙を増やし、文章の中で用いることができる。			<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・言語活動 ・学習課題の提出 	
思考・判断・表現	作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。多様な解釈に基づいて、文学的な作品を創作したり、文章の構成や展開、表現を工夫して書いたりすることが出来る。			<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・言語活動 ・学習課題の提出 	
主体的に学習に取り組む態度	言葉が持つ価値への認識を深め、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、言語文化の担い手として言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。			<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・言語活動 ・ポートフォリオ 	
学 習 計 画					
	学 習 内 容	学 習 の ね ら い			考査
1 学 期	二十億光年の孤独 （谷川俊太郎） 予感（青山七恵） みんなで作るリレー小説 山月記（中島敦） 少年という名前のメカ （松田青子）	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解する。 ・文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察する ・読み手に興味を持たせる構成や展開の工夫をする。 ・心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈する。 			中間・期末
2 学 期	創造からの語り （「未知へ」「夕焼け」「売翁炭」） こころ（夏目漱石） 物語もっと深読み教室 永訣の朝（宮沢賢治） たけくらべ （樋口一葉・川上未映子訳）	<ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の心情や情景の描写を、文体や表現の技法等に注意して書き換え、その際に工夫したことなどを話し合ったり、文章にまとめたりする。 ・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深める。 ・他の作品と比較するなどして、文体の特徴や効果について考察する ・出来事の経過にそって、登場人物の気持ちの推移を理解し、適切にまとめる。 			中間・期末
3 学 期	現代に甦る歌物語 項羽と劉邦—『史記』を読む 花山天皇の退位—『大鏡』を読む む 誘惑する書評	<ul style="list-style-type: none"> ・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深め、自由に想像した物語を表現を工夫して書く力を身に付ける。 ・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深める。 ・伝えたいことや感じてもらいたいことが伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直す。 			学年末

科目名	古典探究	単位数	2	学科・学年・学級	普通科 2年2組（選択）
学習の到達目標	古文や漢文を主体的に読み深めることを通して、日本の伝統的な言語文化への理解や関心を深める。			教科書・副教材等	精選古典探究（大修館書店）
評 価					
観 点	評 価 規 準			方 法	
知識・技能	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。			<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・言語活動 ・学習課題の提出 	
思考・判断・表現	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通じた先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。			<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・言語活動 ・学習課題の提出 	
主体的に学習に取り組む態度	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。			<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・言語活動 ・ポートフォリオ 	
学 習 計 画					
	学 習 内 容	学 習 の ね ら い			考査
1 学 期	<p>オリエンテーション 説話『十訓抄』 故事成語 助長・知音 随筆(一) 『徒然草』 『方丈記』</p> <p>史伝 『史記』鴻門の会</p> <p>物語(一) 『伊勢物語』</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・古典の授業や勉強方法について理解する。 ・登場人物の行動に注意して読み、場面の展開を把握する。 ・故事成語の意味の成り立ちを理解し、現在の用法に慣れる。 ・故事成語の叙述のおもしろさを味読する。 ・作者のものの見方、感じ方、考え方を理解し、『徒然草』の魅力をとらえる。 ・作者の思想の基調を理解する。 ・対句的表現や比喻などの修辞技巧を理解し、的確な描写とその表現効果について考える。 ・長い文章を読み、漢文の読解に慣れる。 ・様々な人物像を通して、人間の生き方についての考えを深める。 ・項羽と劉邦の生涯と世界史で学習した事柄との繋がりを理解する。 ・『史記』と司馬遷についての知識をまとめる。 ・歌物語の特徴、和歌と地の文との関係や表現技巧を理解し味読する。 ・当時の人々の生き方、生活や文化、ものの見方や考え方などへの認識を深める。 			中 間 ・ 期 末
2 学 期	<p>随筆(二) 『枕草子』</p> <p>史伝 『史記』四面楚歌</p> <p>物語(二) 『大鏡』</p> <p>物語(二) 『平家物語』</p> <p>漢詩 —近体詩—</p> <p>日記 『土佐日記』</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・作者の人柄と感性の特質を理解し、個性的な感想のおもしろさを味わう。 ・平安時代の宮中の様子、特に作者と周囲の人物とのかかわりについて正確に把握し、当時の中国文化の影響について認識を深める。 ・漢文に親しみ、歴史物語のおもしろさを味わう。 ・「大鏡」の構成と内容、歴史物語としての特色を理解する。 ・登場人物の関係、その行動や心情をとらえ、人物や事件について、作者がどのように思っているかを考える。 ・敬語の意味と用法について整理し理解する。 ・物語の展開に焦点を当てて読み、登場人物の言動、心情、生き方を読み取る。 ・軍記物語としての、すぐれた情景描写の表現を味わい、音便の多用、漢詩文の引用などの特徴を理解する。 ・唐代の詩を繰り返し音読し、漢文独特の口調に習熟する。 ・近体詩の形式や表現、対句などの近体詩の技法を理解する。 ・人生観や自然観についての認識を深め、文学作品を鑑賞する能力を高める。 ・日記としての形式や、文体、作者の意図について理解し、作者の心情を味わって読み、古人の旅についての理解と認識を深める。 			中 間 ・ 期 末
3 学 期	<p>日記 『更級日記』</p> <p>文章 『陶淵明集』 桃花源記</p> <p>物語(三) 『源氏物語』</p> <p>思想—諸子百家の教え—</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・物語作品などへのあこがれと夢を抱く作者の心情を理解する。 ・散文表現の特色を理解し、作品に表れる作者の社会観、自然観を読み取り、自己の感じ方や考え方を豊かにする。 ・作者の社会批判の精神を理解する。 ・それぞれの場面、登場人物の人間関係を正確につかみ、微妙な心理の動きをたどる。 ・物語中の人物描写などを味読し、作品をとりまく時代の背景、文化的環境についての理解を深める。 ・敬語をはじめ読解の前提となる文法知識を身に付ける。 ・繰り返し読み、暗唱することを通して中国古代思想を深く読み取り、自己の考え方を豊かにする。 			学 年 末

科目名	国語表現	単位数	2	学科・学年・学級	森林環境科 3年1組
学習の到達目標	国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。			教科書・副教材等	高等学校 国語表現 (第一学習社)
評 価 規 準					
観 点	評 価 規 準			方 法	
関心・意欲・態度	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。			・授業態度、発言、提出物の状況	
話す・聞く能力	目的や場に応じて効果的に話的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えを深め、発展させている。			・授業態度、発言、音読、ノート等のメモ書き	
書く能力	相手や目的、意図に応じた適切かつ効果的な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。			・定期考査、授業態度、授業プリント、ノート、課題	
知識・理解	言葉の特徴やきまり、役割などについての理解を深め、知識を身に付けている。			・定期考査、授業態度、発言、課題	
学 習 計 画					
	学 習 内 容	学 習 の ね ら い			考査
1 学 期	表現の実践 詩のカレンダーを作る 課題作文を書く 小論文を書く	<ul style="list-style-type: none"> ・「誕生月の詩を選ぶ」で選んだ詩を持ち寄り、各月の代表詩を決定した各月の代表詩をもとに、カレンダーを作る。 ・例文を内容・表現・表記の面から分析・評価する。 ・自分自身について分析し、自己認識を深める。課題作文の書き方を理解し、明確な自己アピールとなる文章を書く。 ・小論文の書き方を理解する。 ・小論文を書き、書いた小論文を相互に批評する。 			中間 ・ 期末
2 学 期	表現の探求 日本語の特徴 方言と共通語 敬語の分類 ニュアンスを変える 助詞 日本語のレトリック 古語雑談「やさし」 の語史 時間の見方を変える とき	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語の、文法・語彙・音節・文字の特徴を理解する。 ・方言と共通語の特徴を理解するとともに、方言のよさを理解し、方言と共通語を適切に使分けける態度を養う。 ・目的や場に応じて、適切な言葉遣いで話すことの重要性を理解する。また、正しい敬語について理解し、適切な敬語を用いて話す。 ・身近な日常会話を通して、日本語に対する興味・関心を持ち、助詞の違いで意味が変化することについて、日本語の文法の特徴を理解するとともに、助詞の違いにこめられたニュアンスの違いを理解する。 ・日本語における比喩表現について、その種類や用例、効果を理解し、比喩表現が人間の言語生活に与えた影響とその意義を理解する。 ・言葉の意味の変遷をたどることにより、現在使われている日本語の成り立ちや、日本人のものの考え方の源泉について考える。 ・現代語と古語との間に意味の違いがある言葉について、どのように意味が異なるか調べて理解する。 ・論理的な文章を読み、その構成や論証のしかたを、自分の表現に役立てる。 ・論理的な文章を読み、ものの見方や考え方を広げる。 ・論理的な文章を読み、その優れている点を話し合う。 			中 間 ・ 期 末
3 学 期	皁月 コップの中の論戦	<ul style="list-style-type: none"> ・文章中の表現技法とその効果を理解する。 ・登場人物個々の描写のしかたや、心情を表す工夫について理解し、自分の表現に役立てる。 ・投書を擬した各文章の論点と、その表現の特徴とを理解し、そのように表現した筆者の意図を考える。 ・論戦に加わる形で自分の意見を書き、相互批評をする。 			実施なし

科目名	現代文B	単位数	2	学科・学年・学級	普通科 3年2組
学習の到達目標	近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって、国語の向上を図り人生を豊かにする態度を養う。			教科書・副教材等	高等学校改訂版 現代文B (第一学習社)
評 価 規 準					
観 点	評 価 規 準			方 法	
関心・意欲・態度	国語で理解し表現する力を進んで高めるとともに、国語を尊重しての向上を図ろうとしている。			・授業態度、授業プリント、ノート、課題	
話す・聞く能力	目的や場に応じて効果的に話したり的確に聞きとったりして、自分の考えを深め、発展させている。			・授業態度、授業プリント、ノート、課題	
書く能力	必要な情報を用い、相手や目的、課題に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。			・定期考査、授業態度、授業プリント、ノート、課題	
読む能力	近代以降の文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。			・定期考査、授業態度、授業プリント、ノート、課題	
知識・理解	言語文化及び言葉の特徴やきまりなどについての理解を深め、知識を身に付けている。			・定期考査、授業プリント、ノート、課題	
学 習 計 画					
	学 習 内 容		学 習 の ね ら い		考査
1 学 期	評論(一) 写真の持つ力		<ul style="list-style-type: none"> ・評論の読み方に習熟する。 ・「ジャーナリズムに何ができるのか？」という問いに対する筆者の考えを理解する。 ・写真というメディアの持つ特徴について調べ、まとめる。 		中 間 ・ 期 末
	小説(一) 檸檬		<ul style="list-style-type: none"> ・文体・描写・構成に着目し、言語表現の豊かさ、面白さを学ぶ。 ・場面の展開と、登場人物の心情について、正しく読み取る。 		
	評論(二) 言語が見せる世界		<ul style="list-style-type: none"> ・「プロトタイプ」という概念とその形成について理解する。 ・現代社会における言語観・生命観について見識を深める。 		
2 学 期	評論(三) 目に見える制度と見えない制度		<ul style="list-style-type: none"> ・文章の論理展開を把握して、筆者の主張を的確に読み取る。 ・自然で自明と思われているものが、実はある制度やしかけの中で意図的に作られていくものであることを理解する。 		中 間 ・ 期 末
	小説(二) 舞姫		<ul style="list-style-type: none"> ・近代の代表的な小説を読み、文学のおもしろさを味わう。 ・時代や人間のあり方について理解を深める。 ・文語文体を味わい、文体・修辞・語句の意味などを正確に捉え言語感覚を磨く。 ・ある程度の長さのある小説の読み方に習熟する。 		
	詩 足と心 自然の背後に隠れて居る句を切る		<ul style="list-style-type: none"> ・散文とは異なる、抽象的な現代詩のおもしろさを積極的に味わう。 ・近代の代表的詩人である萩原朔太郎の世界を味わう。 ・萩原朔太郎について、知識や関心を持つ。 		
3 学 期	評論(五) 「である」ことと「すること」		<ul style="list-style-type: none"> ・まとまった分量のある評論を読解する。 ・「『である』論理」と「『すること』論理」の違いを正しく理解する。 ・「『である』こと」と「『すること』こと」について、自身の価値観に引きつけて考える。 		実 施 な し

科目名	古典A	単位数	2	学科・学年・学級	普通科 3年2組(選択)
学習の到達目標	古文と漢文を読む能力を養うとともに、古典についての理解や関心を深めることによって、ものの見方、感じ方、考え方を広げ、人生を豊かにする態度を育てる。			教科書・副教材等	古典A (三省堂) 新訂国語図説 (京都書房)
評 価					
観 点	評 価 規 準			方 法	
関心・意欲・態度	古典を読む力を進んで高めるとともに、古典についての理解や関心を深めようとしている。			・授業態度、授業プリント、ノート、課題	
読む能力	古典を読んで思想や感情などを的確に捉えたり、その価値を考察したりして、自分の考えを深め、発展させている。			・定期考査、授業態度、授業プリント、ノート、課題	
知識・理解	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまりなどの理解を深め、知識を身に付けている。			・定期考査、授業態度、授業プリント、ノート、課題	
学 習 計 画					
	学 習 内 容		学 習 の ね ら い		考査
1 学 期	1	宇治拾遺物語 『百鬼夜行』 『観音になった男』 『袴垂と保昌』 『応天門炎上』 『歌詠みの徳』	<ul style="list-style-type: none"> ・説話に描かれた登場人物の特徴に関心を持つ。 ・古典などに表れた思想や感情を読み取り、人間・社会・自然などについて考察する。 ・古典特有の表現を味わったり、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解したりする。 		中 間 ・ 期 末
	2	故事成語 『塞翁が馬』 『朝三暮四』 『杞憂』	<ul style="list-style-type: none"> ・言語文化の特質や我が国の文化と中国の文化との関係について理解する。 		
2 学 期	3	今昔物語集 『絵師と大工』 『玄象の琵琶』 『姨母捨山』	<ul style="list-style-type: none"> ・説話が描く世界のおもしろさを味わう。 ・説話の構成と展開を理解し、その理解した内容を表現できるようになる。 ・登場人物の心情を考えて音読・朗読する。 		中 間 ・ 期 末
	4	論語 『孔子の人となり』 『孔子と政治』	<ul style="list-style-type: none"> ・孔子の考えに興味を持ち、現在に照らし合わせる。 ・孔子の考え・心情を理解しながら音読する。 ・孔子・老子の人となりと政治観を理解する。 		
	5	十訓抄 『笛吹き成方』 『行成と実方』	<ul style="list-style-type: none"> ・古代中国の思想に興味を持ち、現在に通用するか考える。 		
6	老子 『大同廢れて、仁義あり』 『天下水より柔弱なるは莫し』	<ul style="list-style-type: none"> ・場面や比喩を正確に読みとり、その思想を追究する。 			
3 学 期	7	三国志 『三たび往きて、乃ち見る』	<ul style="list-style-type: none"> ・三国志に興味を持ち、前後のストーリー展開を知ろうとする。 ・歴史文学のおもしろさを味わう。 		実 施 な し

科目名	古典B	単位数	3	学科・学年・学級	普通科 3年2組 (選択)
学習の到達目標	古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育てる。			教科書・副教材等	精選古典B 改訂版 (大修館書店) 新訂国語図説 (京都書房)
評 価 規 準					
観 点	評 価 規 準			方 法	
関心・意欲・態度	古典を読む力を進んで高めるとともに、古典についての理解や関心を深めようとしている。			・授業態度、授業プリント、ノート、課題	
読む能力	古典を読んで思想や感情などを的確に捉えたり、その価値を考察したりして、自分の考えを深め、発展させている。			・定期考査、授業態度、授業プリント、ノート、課題	
知識・理解	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまりなどの理解を深め、知識を身に付けている。			・定期考査、授業態度、授業プリント、ノート、課題	
学 習 計 画					
	学 習 内 容		学 習 の ね ら い		考査
1 学 期	説話 『古今著聞集』 説話と寓話 長安何如日遠 仁斎赤貧 随筆 『枕草子』 物語(一) 『大和物語』 史伝 荆軻 物語(一) 『大鏡』		<ul style="list-style-type: none"> ・戦場での連歌に込められた人物の心情をとらえる。 ・論理の展開を正確に把握し、表現や構成の巧みさを鑑賞できる能力を養う。 ・歴史上の人物の感慨や人生観を理解する。 ・会話や敬語に注意して、登場人物の関係を把握する。 ・作品の“場”としての宮廷の日常生活のあらましを理解する。 ・当意即妙の、言葉によるやりとりのおもしろさを読み取る。 ・人間の生き方、思想や感情を理解し、人生についての認識を深める。 ・「姥捨伝説」について調べる。 ・長い文章を読み、漢文を読解する能力を増進する。 ・『史記』の文章に親しみ、司馬遷の描写力の見事さを鑑賞する。 ・『史記』の文章表現の妙味や、そこに用いられている故事成語などを理解し、言語感覚を豊かにする。 ・登場人物の才能、行動、心情を作者がどのようにとらえているかを読み取る。 ・当時の中国文化の影響について認識を深める。 ・『大鏡』の構成と内容、歴史物語としての特色を理解する。 		中 間 ・ 期 末
2 学 期	日記 『蜻蛉日記』 漢詩 桃夭・石壕吏 物語(二) 『源氏物語』 文章 春夜宴桃李園序 評論 『古今和歌集仮名序』 『玉勝間』 思想 老子・韓非子		<ul style="list-style-type: none"> ・作者の境遇についての認識を深め、心情を読み取る。 ・地の文、会話文、和歌のつながりを把握する。 ・歴代の古体詩を読み、その特色を理解する。 ・古体詩の形式や表現について理解する。 ・文学作品を鑑賞する能力を高める。 ・語句の意味や文法を理解し、正しく読解する。 ・場面の状況や人物の心理を正確にとらえ、微妙な心理の動きを理解する。 ・和歌や自然描写などを味読する。 ・当時の習俗や文化的環境についての理解を深める。 ・敬語に注意して、人物関係を把握する力を高める。 ・『源氏物語』の特色を理解し、内容への関心を高める。 ・名文として知られる作品を深く読み味わう。 ・作品に表れる作者の人生観、自然観を読み取り、自己の感じ方や考え方を豊かにする。 ・中国の文章のジャンルとその歴史について知る。 ・和歌についての作者のとらえ方を読み取る。 ・学問とは何かについて、筆者の考えを理解し、考えを深める。 ・背景となる諸子百家の状況についての理解を深める。 		中 間 ・ 期 末
3 学 期	和歌・歌謡・俳諧(古典編Ⅰ)		<ul style="list-style-type: none"> ・和歌の発想や表現、韻律、修辭法など、独特の表現方法を理解する。 ・『万葉集』『古今和歌集』『新古今和歌集』の歌風の特徴をつかむ。 ・歌謡の韻律、題材上の特色について考える。 ・切れ字や季語など、発句の決まりを理解し、芭蕉・蕪村・一茶それぞれの俳風を鑑賞する。 		実 施 な し

科目名	国語探究Ⅱ	単位数	2	学科・学年・学級	森林環境科 3年1組（選択）
学習の到達目標	<p>評論や報告文を読むにあたって必要な現代社会の用語やその意味・使い方などを学習させた上で、実際に自分の意見を論理的に構築して、小論文として書いていく力を身に付けさせる。</p>			教科書・副教材等	サクセス 小論文講座 (桐原書店)
評 価					
観 点	評 価 規 準			方 法	
関心・意欲・態度	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。			・授業態度、発言、提出物の状況	
話す・聞く能力	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えを深め、発展させている。			・授業態度、発言、音読、ノート等のメモ書き	
書く能力	自分の考えを必要な情報を用い、適切な表現による文章にし、自分の考えを深め、発展させている。			・定期考査、授業態度、授業プリント、ノート、課題	
知識・理解	言葉の特徴やきまり、役割などについての理解を深め、知識を身に付けている。			・定期考査、授業態度、発言、課題	
学 習 計 画					
	学 習 内 容		学 習 の ね ら い		考査
1 学 期	<p>1 知識と情報 環境と生態系の保全 食の確保と安全 森林と地球温暖化 持続可能な社会 日本の農業</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・原稿用紙の使い方、禁則処理等の既習事項の定着を図る。 ・原稿用紙に意見を書く。 ・現代社会の、主に農業や科学の分野で問題となっているものについて、その現状を学習する。 		学 期 末
2 学 期	<p>2 小論文の実践 要約の仕方 キーワードの見つけ方</p> <p>課題の主旨をつかむ</p> <p>意見を定める 理由付けをする 反証の仕方</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・課題文を要約する練習をする。 ・小論文の基本的な書き方をもとに、実際の自分の意見を小論文に書く。 ・例題に沿って、さまざまなパターンの小論文を練習する。 		学 期 末
3 学 期	<p>3 さまざまな課題 問題提起の仕方</p> <p>課題のタイプと書き方</p> <p>効果的な具体例の出し方</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・課題文の読解と、そこから問いを立てる方法を身に付ける。 ・より説得力のある小論文になるよう、具体例を工夫する。 		実 施 な し